Regional Inflation (Price) Behaviors: Heterogeneity and Convergence

筑波大学・永易 淳

本研究は、三カ国（日本、アメリカ、イギリス）の地域データを用い、次の二点を分析する。１）一国内におけるインフレは地域により異なるのか、２）その場合、物価には収斂の傾向があるのか否か。本研究では、比較的一様と一般的に考えられている日本にのみ、地域間のインフレが異なることや、日本国内の地域格差は収斂の兆しもないことを示している。統一通貨を導入する際、国家間のインフレ一様化の重要性が研究者や経済政策担当者から頻繁に議論されたが、統一通貨圏（日本）における上記の実証結果はこの一般論に疑問を投げかける。